

# ainote

ア イ ノ テ

- 各設置校におけるコロナ対策 ■茨木市内大学共同声明
- 医療現場で活躍する卒業生 ■医療従事者を目指すみなさんへのメッセージ集
- あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション
- 臨床実習ユニフォーム共同企画 ■2019年度決算

and more...



# 学校法人藍野大学における 新型



## 手指の消毒

各教室前にアルコール消毒液を設置し、  
入退室時の手指消毒を徹底しています。

## 毎日の健康チェック

学生・生徒は、毎朝自宅で検温し、  
スマートフォン等で健康チェックを  
行っています。



## 対面授業における対策

対面授業では、座席の間隔を開け、  
マスクの着用を徹底しています。

## 実習中の対策

密になりやすい実習中も  
感染予防対策を徹底し、  
安全を重視して実施しています。



## 非接触型体温測定システム・顔認証ゲート「HESTA」を導入

非接触温度センサー搭載システム「HESTA AI Security Gate」  
を全設置校に配置。集団感染のリスクを防ぎ、学修機会を守ります。

本システムは、皮膚に接触せず、額が発する赤外線を検知して1  
秒以内に体温を測定。マスク着用の認識も可能で、マスクを付けて  
いない人や高熱の人が通ろうとすると、アラームや音声で警告を発  
します。また、搭載されているカメラと人工知能(AI)により、データ  
ベースに学生・生徒や教職員の顔を登録することができ、入場時刻  
を記録。後に入場者の感染が判明した場合、濃厚接触者の絞り込み  
にも使用できます。



# コロナウイルス感染症対策



## 授業後の消毒

授業終了後、使用した机やイス、マイク等の消毒を実施しています。

## グループワークにおける対策

グループワークでは意見が飛び交い飛沫による感染リスクが高まるため、フェイスシールドを着用しています。



## 図書館における対策

藍野大学中央図書館でも開館時間の短縮や臨時休館等を行っていましたが、7月より通常通りの開館を再開しています。臨時休館中は無料の郵送貸出サービスを実施し、多くの学生に利用いただきました。また、自宅学習に役立てられるよう、医中誌や最新看護索引、メディカルオンライン(医学文献検索サービス)などを学外から遠隔で利用できるようにシステムを構築しました。現在は下記の対策をしながら、安心してご利用いただける図書館の運営を行っています。

### 検温・消毒・マスク着用の徹底

階段前にHESTAと手指用アルコール消毒液を設置しました。

熱がある方、マスクを着用していない方の入館はお断りしています。

### 受付カウンター

対応時に飛沫が飛散しないよう、受付カウンターにアクリル板のパーテーションを設置しました。また密を避けるため、利用者側にもレファレンス用の専用モニターを新たに設置しました。

### カウンター順番待ち用足型の設置

図書館カウンターの外に、順番待ち用足型を2メートル毎に貼っています。

### 時間制限

最長1人1時間30分までの利用をお願いしています。(3階グループ学習室の利用も同様)

※9/23(水)より3時間程度まで延長

### 座席数の削減

ソーシャル・ディスタンスを確保するために座席数を削減しました。

また、グループ学習室も通常の半数での利用をお願いしています。

### 館内のアルコール消毒

グループ学習室の利用終了時には机やイス等のアルコール消毒を実施しています。

また、図書館カウンター内も共有部分を中心に清掃・ふき取りを行っています。

### 返却された本について

館内での利用が終わった本や返却された本は、除菌を行なった後、棚に戻しています。

また、本の受け取りの際にはビニール手袋の着用や、手洗いの実施など、常に感染予防を意識しています。



左記内容を記載したポスターを、図書館の入口や掲示板に貼り出し、学生の感染予防対策意識を高めています。



# 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた

## 茨木市内大学共同声明を発表しました

藍野大学・藍野大学短期大学部を含む茨木市内6大学（追手門学院大学、大阪行岡医療大学、梅花女子大学、立命館大学）と茨木市は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた共同声明を8月3日に発表しました。

共同声明策定にあたっては、学生たちと茨木市が2回にわたってオンライン意見交換会を行い、「withコロナにおける生活」の心掛けについて議論。学生ならではの意見やアイデアをもとに、学生への呼びかけとして、「自身を守るだけでなく、家族や友人、社会を守るため、他人への思いやりを持ち、自分の行動に責任を持つ」心掛けを次のとおりまとめました。

**自分が感染しているかも!?という意識を持とう!**

**おうちじかんを大切に、新しいコトはじめよう!**

**こんな時こそ、スマイル、Happy、ポジティブに!**

各場面における心掛け .....

### 〈学内〉

- 友達同士の楽しい会話もマスクをつけて行おう!
- 少しでも体調に異変を感じたら、家族や周りの人に伝えよう!

### 〈部活動〉

- 部活動やサークルで、自分の体調や行動を常に把握し、自分とチームメイトを守ろう!

### 〈外食〉

- コロナ対策を頑張っているお店を選ぼう!
- コロナ追跡システムや接触確認アプリに協力しよう!

### 〈移動〉

- 公共交通機関では会話を控えよう!
- 健康のため、徒歩や自転車で移動しよう!

### 〈人権侵害・風評被害の防止〉

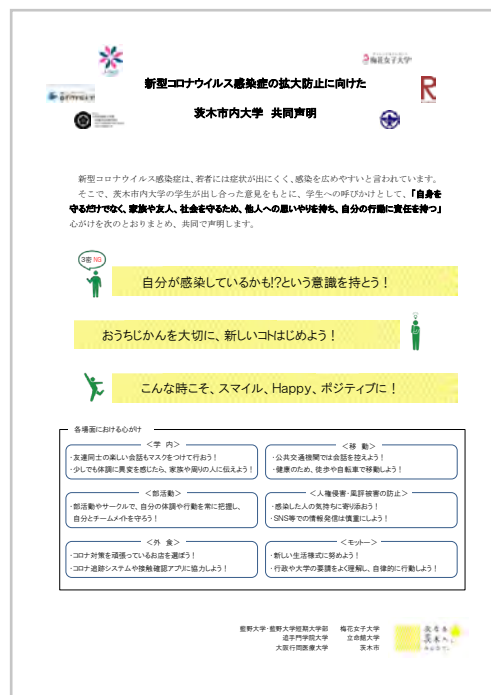
- 感染した人の気持ちに寄り添おう!
- SNS等での情報発信は慎重にしよう!

### 〈モットー〉

- 新しい生活様式に努めよう!
- 行政や大学の要請をよく理解し、自律的に行動しよう!



茨木市長と学生のオンライン意見交換の様子



共同声明ポスター



PR動画を、M・L・CとAINOPIAで公開中!



PR動画はこちらより  
ご覧いただけます

「茨木市」YouTubeチャンネル

この声明を広く知っていただくため、PR動画も制作しました。動画では、共同声明作成プロジェクトに参加した学生を中心に、声明にのっとった学生個人の心掛けについて発表しています。このPR動画をとおして、学生だけでなく高齢者や子どもを含め、まち全体の感染拡大防止に繋がることを強く願います。



看護師  
松村 さん

- 医療法人 恒昭会  
藍野病院勤務
- 藍野大学  
医療保健学部  
看護学科  
2013年3月卒業

藍野で、職場が違って困ったときには皆で助け合える最高の仲間ができました。是非皆さんも周りの友達を大切に、色々なことを乗り越えてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 藍野病院で働いてよかったこと、仕事のやりがいとは？

藍野病院は大学との距離が近く、学生時代の先生に相談に行けることや大学の同期と一緒に働けることが良いところだと思います。入職1年目は大変なこともたくさんありましたが、同期や職場の仲間と励ましあいながら乗り越えることができました。また、現在勤務している療養病棟は長期入院の方が多いため、時間をかけて患者さんやそのご家族と信頼関係を築くことができます。患者さんにとっては繰り返しの日常の中で、少しでも変化のある毎日を提供できるようにと考えています。6年目からは副主任として後輩の指導も担当しており、日々成長する姿を見ることにやりがいを感じます。

## コロナ禍で仕事に変化はありましたか？

患者さんをご家族が今までのように直接会える環境ではなくなり、看護師もご家族とコミュニケーションをとる機会が減っているため、もどかしさを感じます。そのような状況の中でも、患者さんの前では変わらず元気に笑顔で、小さな変化からストレスを感じ取り、患者さんが穏やかに過ごせるよう、より良い療養環境の提供に努めています。

## 保健師の仕事内容と、喜びを感じる瞬間を教えてください

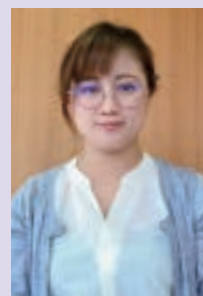
保健師として、地域住民の方への健康づくりや精神保健業務を行っています。具体的には、住民検診や健康講座の開催、精神的な問題を抱える方やその家族からの相談対応、ゲートキーパー研修会の開催など、業務は多岐に渡ります。人口が少なく高齢者の多い地域なので、一人ひとり時間をかけて関わることが魅力だと感じます。どの仕事も伝え方ひとつで相手の受け取り方が変わるので、相手の表情を確認しながら丁寧な対応を心がけています。「安心した」「相談してよかった」などの言葉をいただくと本当に嬉しく、やりがいを感じます。

## コロナ禍における業務の変化はありましたか？

様々なイベントや企画が中止・延期となり、本来1年間かけて行う業務がずれ込んでしまったため、他業務との調整が大変でした。三密を避けるための対応なども綿密に行う必要がありましたが、それらの対応に安心された地域の方々からお礼の手紙をいただいたときには、頑張ってよかったと思えます。今後も様々な対応が求められると思いますが、尊敬する先輩方を目標に、臨機応変に対応していきたいです。

保健師  
林原 さん

- 保健福祉センター勤務
- 藍野大学短期大学部  
専攻科(地域看護学専攻)  
2017年3月卒業



保健師として働き始めると、想像していたよりも幅広い業務を経験することができ、在学中、大変な一面だけを見て夢を諦めないでよかったと思います。専攻科は1年間と短い在学期間ですが、今を全力で楽しんでください。



養護教諭  
石黒 さん

- 滋賀県大津市立  
小学校勤務
- 藍野大学  
医療保健学部  
看護学科  
2018年3月卒業

大学生生活で習得した専門的知識・技能は自信となり、必ず現場で活かされます。そして、自分自身の強みになります。何事も基本が大事なので、日々の学びを大切に、夢に向かって頑張ってください。

## 仕事に喜びを感じる瞬間と今後の目標は？

保健室での救急処置や健康診断、保健教育などの専門的職務を中心に、学校給食や不登校児童への対応などの校務も担当しています。養護教諭は学校に1人ですが、『チーム学校』として、全教職員が共通の教育目標を持ち、子どもたちと関わっています。子どもとの接し方で特に心がけているのは『丁寧に話を聞くこと』。子どもたちが「元気になった!」と言ってくれたり、「保健室に行くと、みんないい顔で戻ってくる」と担任の教員から教えてもらったりすると学校での保健室の大切さを実感します。最近は子どもの健康課題も多様化しており、養護教諭の専門的役割が強く求められているため、どのような場面においても子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、柔軟に対応できる養護教諭でありたいです。

## コロナ禍においてどのような対応を工夫されていますか？

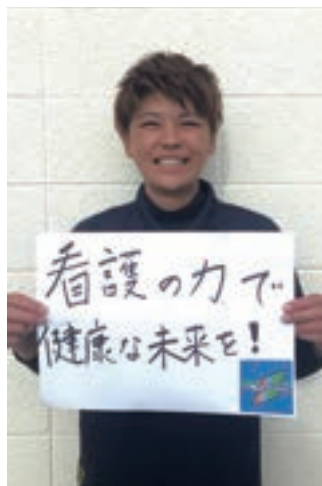
縦と横の連携を意識し、基本に忠実に対応するようにしています。それでも対応に迷ったときは、他校の養護教諭に相談したり、学校医や学校薬剤師と情報交換をしながらベストな方法を模索し、実務に臨んでいます。

新型コロナに  
負けるな!

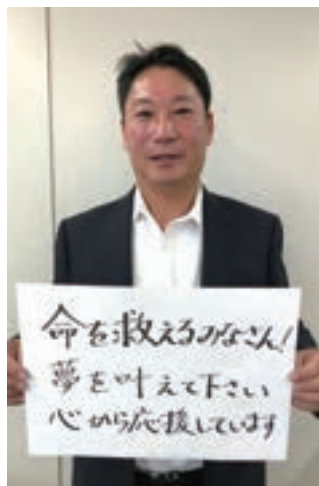
# 将来、医療従事者を目指すみなさんへ



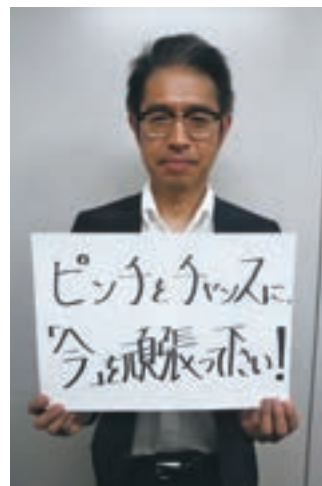
スペランツァ大阪高槻  
背番号20  
園山 萌子様



スペランツァ大阪高槻  
背番号21  
大宮司 晴菜様



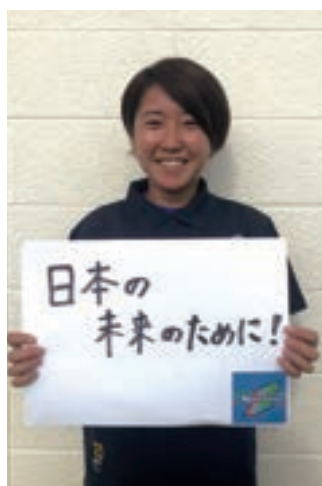
大和ハウス工業株式会社  
本店 建築事業部 営業部 部長  
和田 伸彦様



丸善雄松堂株式会社  
大阪支店 支店長  
新村 岳様



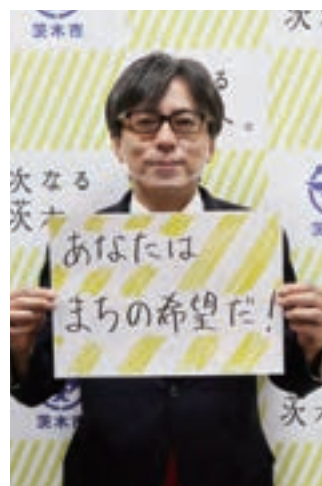
スペランツァ大阪高槻  
背番号22  
森迫 あやめ様



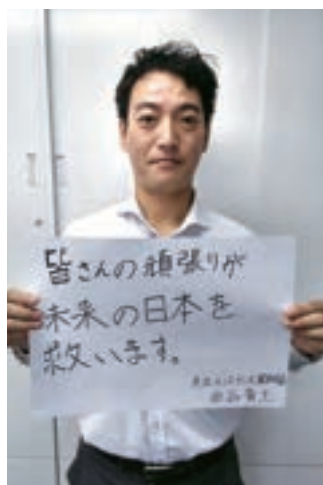
スペランツァ大阪高槻  
背番号23  
高原 麻実様



大阪府富田林市  
市長  
吉村 善美様



大阪府茨木市  
市長  
福岡 洋一様



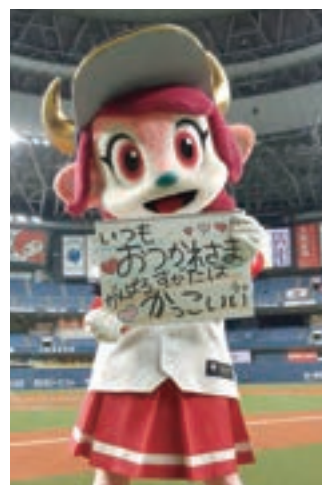
株式会社共立メンテナンス  
寮事業本部 関西支店  
西谷 貴志様



ニプロ株式会社  
企画開発技術事業部 iMEP (医療研修施設) 臨床工学士  
向井 純平様



ニプロ株式会社  
企画開発技術事業部 iMEP (医療研修施設) 臨床工学士  
村瀬 由帆様

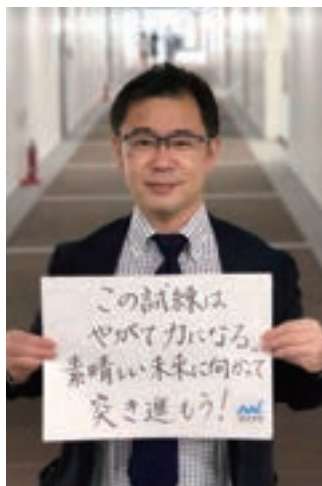


オリックス・バファローズ 公式マスコット  
背番号222  
バファローベル

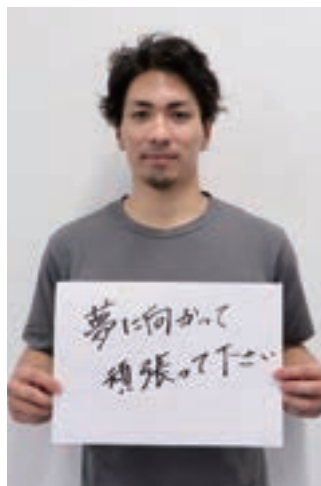
いつもお世話になっている関係者の方々より、  
 コロナ禍における実習の制限や分散登校、オンライン授業等、慣れない環境の中で  
 夢に向かって頑張る学生・生徒のみなさんに向けて、たくさんの応援メッセージをいただきました！



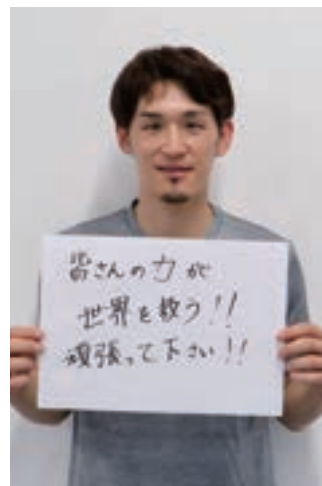
ミズノ株式会社  
 ミズノスイムチーム コーチ  
 寺川 綾 様



株式会社マイナビ  
 メディカル情報事業部 企画広報統括部 統括部長  
 土山 勇 様



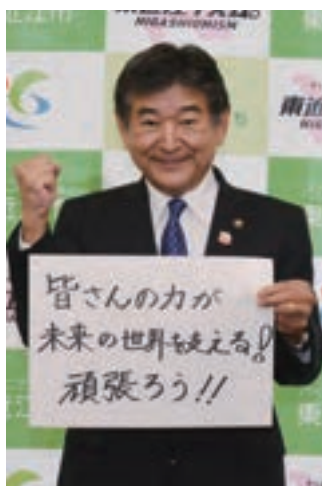
滋賀レイクスターズ  
 背番号4(キャプテン)  
 狩俣 昌也 様



滋賀レイクスターズ  
 背番号35(オフコートキャプテン)  
 伊藤 大司 様



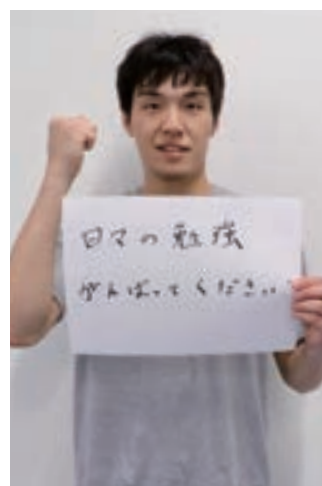
学校法人藍野大学  
 理事長  
 小山 英夫 様



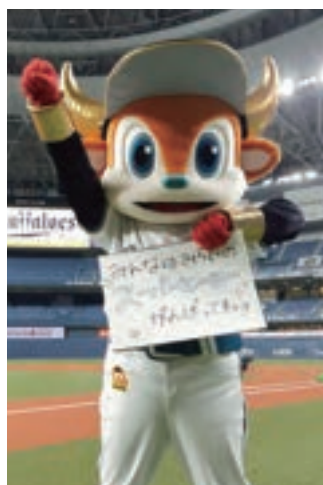
滋賀県東近江市  
 市長  
 小椋 正清 様



滋賀レイクスターズ  
 背番号15  
 谷口 光貴 様



滋賀レイクスターズ  
 背番号1  
 村上 駿斗 様



オリックス・バファローズ 公式マスコット  
 背番号111  
 バファローブル



グッドタイムリビング株式会社  
 グッドタイムリビング 香里ヶ丘 ジェネラルマネージャー  
 田崎 綾子 様



グッドタイムリビング株式会社  
 グッドタイムリビング 香里ヶ丘 ケアアテンダント  
 松浦 実央 様



株式会社藍野大学事業部  
 代表取締役社長  
 村本 高光 様

# 藍野大学短期大学部 メディカル・ あいの発達支援リハビリ

## 設立背景

メディカル・ヘルスイノベーション研究所の「子育て・発達支援領域」における付随施設として設立された、あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション。その設立にあたっては、発達の特性がある児童への支援のみならず、保護者へのケアや子育て支援を包括的に行うことで、地域への理解の深化を図り、障がいの有無に関係なく、互いを尊重し合う共生社会の実現への使命があります。

現在、発達に課題のある児童が通う放課後等デイサービスなど、“通所型の支援施設”は茨木市内だけでも30～40か所あるのに対し、“居宅訪問型の支援サービス”は全国的にもごくわずかしかありません。開設が難しい主な原因は、専門性を持った人材の人手不足。発達を専門とする小児科領域の医師や看護師は絶対数が少なく、リハビリ職も本領域の専門職は全体の1割程度しかないのが現状です。このような人材不足が叫ばれるなかでも、発達に課題のある子どもたちへの支援は、子どもへの理解のみならず、保護者の子どもへの関わり方など、家庭内の環境を知り多角的・総合的に理解を深めていくことが必要です。例えば、イスにずっと座ってられない子どもに対し、イスの座り心地をよくすることで症状を改善させるなど、子どもたち一人ひとりに合った生活基盤を整えていくアプローチの仕方や、家庭内で子どもとの向き合い方に苦労している保護者に対して、関わりやすくなるためのアドバイスをし、育児支援をすることもできます。また、地域へ赴き理解を深めていくこともできます。「今回、開設した訪問看護ステーションは、社会的ニーズに応えるだけでなく、発達の特性がある子どもたちへの家庭・地域からの理解を深めることで様々な課題解決に繋がる可能性もある。」と足利教授は語ります。

## 活動内容

実務にあたっているのは、作業療法士の尾藤所長と看護師の中川副所長。午前中は未就学児家庭への訪問、午後は1才児などの乳幼児家庭、夕方は学校から帰ってきた小学生の家庭への訪問が多く入ります。各家庭に訪問して最初にするのは、保護者の話をしっかりと聞くこと。その上で、食事の練習、字を書く練習など、各家庭での子どもに対する課題に合わせて実務を行います。「訪問先のお子さんだけを見るのではなく、家庭環境についても、全体的に細かく見ていき、アプローチしていく。」と、尾藤所長。生活基盤である家庭内だからこそ改善に直結しやすいポイントも多く見られます。「保護者の子どもたちとの関わり方を観察し、良い部分や、その“意味”を伝えていきます。また、子育ての大変さへの共感や理解を示すことが、心理面・感情面で支援することにつながり、保護者も安心感を得られていい循環をつくります。」と、中川副所長。そんなお二人が何よりも大切にしているのは保護者との関係を丁寧に構築していくことです。抱えている課題を話せる理解者がいるだけで、心が軽くなったと涙する方も多いと言われます。

## 今後のビジョン

開設から約5ヶ月。ひと月平均2～3名の申込みがあり、8月末時点での利用者は、25名を超えました。「普段からネットワークのある藍野療育園からの紹介や利用者の口コミで申込みは増えていますが、潜在的な需要はもっと多いと思います。」と足利教授。

今後、本訪問看護ステーションの活動を広げていくために、「コロナ禍のため延期になってしまったが、今後は、大学・短期大学部の学生を交えた子育てサロンの実施や、家庭内から屋外に出て行く機会も作りたい。例えば、子どもたちが関心のあるゲームサロンやキャンプ研修会などを開き、社会的な繋がりを作っていける機会を設けたいと思っています。」と、尾藤所長。大学・短期大学部の学生の研修施設としても前向きに受け入れていく方針で、「新しい経験を積む機会として一緒に訪問し、子どもたちと関わる中で、別の視点から学びを深めていくしてほしい。」と、足利教授は話します。



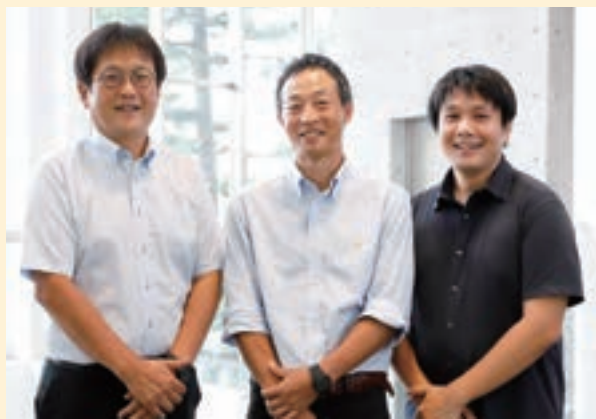
# ヘルスイノベーション研究所 訪問看護ステーション

## メディカル・ヘルスイノベーション 研究所とは

「地域に貢献できる人材を育成」することをコンセプトとし、2018年に藍野大学短期大学部の附置機関として設置。超高齢社会、多死社会の到来による、医療を取り巻く様々な社会問題を解決するために、「医学領域、公衆衛生領域」、「メンタルヘルス領域」、「子育て・発達支援領域」の3つの領域で、地域医療と協働して幅広い学際的な研究を行い、その成果を地域に還元すること。また、地域社会に求められる保健活動の知識を有する人材の育成およびその情報発信をすることを目的としています。

### 子育て・発達支援領域

- 1 発達支援リハビリ訪問看護ステーションの立ち上げ
- 2 産後ケアセンターの開設準備
- 3 発達支援研修会などの開催を計画中



足利 学 教授

尾藤 望 助教

中川 栄太 助教

### 【子育て・発達支援領域長】

藍野大学短期大学部  
第一看護学科 学科長・教授  
公認心理師・臨床心理士

あしかが まなぶ  
足利 学 教授

大学で心理学関連の授業を担当する傍ら、精神科や心療内科の患者さんへカウンセリングを行なっています。4姉妹の父親でもあり、休日は家族と釣りへ出かけたり、最近始めたゴルフを楽しんでいます。

1998年関西大学大学院社会学研究科社会心理学専攻臨床心理学専修博士後期課程修了。1993年から医療法人恒昭会 藍野病院、藍野花園病院で臨床心理士としてキャリアを積み、2000年4月より藍野学院短期大学講師、2001年4月より助教授、2004年4月藍野大学医療保健学部助教授、2011年4月より同学部教授、2018年4月より藍野大学短期大学部第一看護学科の学科長、同年より藍野大学短期大学部附置機関メディカル・ヘルスイノベーション研究所の子育て・発達支援領域長に就任。

### 【所長】

作業療法士

びとう のぞむ  
尾藤 望 助教

3姉妹の父でもあり、家では子どもたちと一緒に昆虫や熱帯魚を育てることにハマっています。元アマチュアボクサーで、身体を使うことも好きです。

2005年藍野医療福祉専門学校卒業後、2009年から小児整形クリニック勤務時に、発達に課題のあるお子さんと保護者への支援経験を積み、2020年4月より藍野大学短期大学部第一看護学科助教、並びに藍野大学短期大学部附置機関メディカル・ヘルスイノベーション研究所のあいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション所長に就任。

### 【副所長】

看護師

なかがわ えいた  
中川 栄太 助教

植物を育てることが好きで、ベランダはまるで小さな森です。最近ではティランジア(エアープランツ)と多肉植物を育てることに夢中。2才と0才の兄弟の父親でもあります。

1999年から看護師として、病院や施設、看護教育機関など様々なフィールドで働く。2018年滋賀大学教育学研究科修士課程卒業。在学中から、マインドフルネスについて学びを深め、「f.b(英国で開発された、子ども向けマインドフルネスプログラム)teacher」の資格取得後、2020年4月より藍野大学短期大学部第一看護学科助教、並びに藍野大学短期大学部附置機関メディカル・ヘルスイノベーション研究所のあいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション副所長に就任。



## 総合スポーツメーカー「ミズノ」との臨床実習ユニフォーム共同企画

本法人は総合スポーツメーカー ミズノ株式会社（以下、ミズノ）と2020年4月以降に入学する学生・生徒向けの臨床実習ユニフォームを共同企画しました。医療教育では、幅広い専門知識や一般教養の学びに加え、臨床実習をとおして直接患者に接することで、医療に携わる者として不可欠な知識・技能を身につけます。近年の医療現場において、責任感や指導力、協調性などを学ぶ機会となる臨床実習は重要性が増していることから、臨床実習の充実を図っています。

そこで本法人では、学生・生徒一人ひとりが身につけてきた知識・技能を臨床実習で最大限に発揮できるように、医療従事者が求める使いやすさや動きやすさ、快適性にこだわった臨床実習ユニフォームの製作を目指し、ミズノと共同企画を行いました。メディカルウエアをはじめワークアパレルを幅広く展開するミズノにとっても、学校法人へのオリジナルメディカルウエアの納品は、初めての取り組みです。

この臨床実習ユニフォームは、医療教育に携わる本法人教育陣の医療現場での経験と、ミズノがもつスポーツウエア開発のノ

ウハウをベースに作られています。生地には、制菌性に優れ、汗のにおいの元になるタンパク質を分解する機能性素材を採用。人間工学に基づいたウエア設計は引きつれや圧迫感を軽減し、身体の自由な動きをサポートします。また、細部の機能性にもこだわり、新ウエアではキーループをポケットの内側に取り付けることで、ループがドアノブなど外部のものに引っかかることから守ります。さらに、パンツの裾にアジャスターを搭載することで、成長に合わせて裾上げが容易にできるようにしました。

2020年4月に入学した藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学部、藍野高等学校の学生・生徒約700人を対象にこのユニフォームを導入しています。

「Saluti et Solatio Aegrorum（病める人々を医やすばかりでなく慰めるために）」という教育理念をもつ学校法人藍野大学は、「より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する。」という経営理念を掲げるミズノ株式会社と協業し、社会貢献・地域貢献への取り組みをとおして、地域から愛されるブランドを目指します。



藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学部

藍野高等学校

# 2019年度 学校法人藍野大学 決算の概要

2019年度決算は、2020年7月27日の学校法人藍野大学理事会および評議員会において承認決議されました。

2019年度の本学の収支決算の概要は以下の通りです。

## (1) 資金収支決算

「資金収支計算書」は、その年度の教育研究等の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容および支払資金（現金・預貯金）のてん末を明らかにする計算書類です。活動内容ごとの収支は「活動区分資金収支計算書」に記載されています。

2019年度の資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め39億7,316万円となりました。

資金支出は、教職員人件費、教育研究や法人運営に係る経費、施設設備費のほか借入金返済などの支出を含め54億9,337万円となりました。結果、2019年度単年度での収支は15億2,021万円の支出超過となり、期末の繰越支払資金は35億755万円となりました。

2019年度は、支出超過額が多くなっていますが、びわこリハビリテーション専門職大学の開設、教育研究環境の基盤整備、教育の質保証への取り組みを重点施策とし、藍野大学の新校舎メディカル・ラーニング・commons（2019年12月竣工）建設や各設置校の改修工事、設備更新など将来投資を行っているためです。これらに係る支出の多くは固定資産として計上され、将来の長期間にわたり教育研究活動に資するものとなります。

## (2) 事業活動収支決算

「事業活動収支計算書」は、当該年度の本法人の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入および事業活動支出の均衡状態が保たれているかどうかを示す計算書類で、企業会計という損益計算書に類するものとなります。この計算書類は「経常的な収支」と「臨時的な収支」に区分して示され、学校法人の経営状況をよりわかりやすくし、経営状態の健全性を判断する材料となります。経常的な収支のうち、本業である教育研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒納付金収入等の教育活動収入から教育活動に必要な支出である教育活動支出を差し引き、教育活動収支差額（営業利益に相当）を算出します。2019年度は7,951万円の収入超過となりました。主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は1,141万円の支出超過となりました。この結果、経常収支差額（経常損益に相当）は6,809万円の収入超過となりました。2019年度は教育研究の質向上のため各設置校において施設設備の改修や更新を行い、これに伴う固定資産を処分しました。その処分額1億2,091万円は臨時的な収支を表す特別収支に施設設備処分差額として計上され、特別収入と特別支出との差額である特別収支差額（企業会計でいう特別損益に相当）は、1億5,277万円の支出超過となりました。特別収支は単年度のみ発生するものであり、継続的に生じるものではありません。この結果、基本金組入前当年度収支差額は3,718万円の支出超過となりました。

基本金組入額2億円は今後の茨木キャンパスの施設設備整備のため、計上したものであり、計画に従い2021年度まで毎年2億円が第2号基本金に繰り入れられます。基本金取崩額4億3,056万円は前述した固定資産の処分に伴うものです。なお、施設設備処分差額は帳簿価額（取得原価・減価償却累計額）で、基本金取崩額は取得原価で処理されるため金額は一致しません。結果、当年度収支差額、前年度繰越収支差額、基本金取崩額の合計である翌年度繰越収支差額は43億946万円の支出超過となり、前年度と比べ1億9,337万円支出超過額が減少しました。

## (3) 貸借対照表

貸借対照表は決算時点における学校法人の財政状態（資産、負債、純資産（基本金、繰越収支差額）の内容および残高）を示しています。

2019年度は、「(1) 資金収支決算」「(2) 事業活動収支決算」で述べたびわこリハビリテーション専門職大学開学準備に伴う施設設備整備や教育研究の質向上のために藍野大学の新校舎メディカル・ラーニング・commons建設、各設置校の校舎改修工事などの実施、それに伴う施設設備の更新に伴う固定資産を処分により、固定資産は前年度比21億9,671万円増の138億3,342万円となりました。また、2019年度から第2号基本金への繰入額を、第2号基本金引当特定資産として計上しています。メディカル・ラーニング・commons建設および各設置校の改修を、自己資金および借入により実施したため、現預金が前年度比15億2,021万円減、借入金が長短合わせ1億6,467万円増となっています。また、2019年度に完成した工事代金の一部が2020年度に支払うことになったことや、メディカル・ラーニング・commonsに設置する機器備品をリースにより調達したため、未払金長短合わせ前年比7億2,688万円増加しています。

これらの結果、2019年度末における資産総額は前年度比8億9,549万円増の176億3,370万円となり、負債が前年度比9億3,267万円増の59億2,821万円、純資産は前年度比3,718万円減の117億549万円となりました。

（注）四捨五入の関係で説明中の数値合計は必ずしも一致しません。

# 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定資産	14,068,843	11,669,692	2,399,151
有形固定資産	13,833,416	11,636,708	2,196,707
特定資産	200,000	0	200,000
その他の固定資産	35,426	32,983	2,443
流動資産	3,564,855	5,068,516	△1,503,661
資産の部 合計	17,633,698	16,738,208	895,489
負債の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定負債	2,909,812	2,425,530	484,282
流動負債	3,018,400	2,570,011	448,388
負債の部 合計	5,928,212	4,995,542	932,670
純資産の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
基本金	16,014,947	16,245,503	△230,555
繰越収支差額	△4,309,462	△4,502,836	193,374
純資産の部 合計	11,705,485	11,742,666	△37,180
負債及び純資産の部 合計	17,633,698	16,738,208	895,489

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。  
※「増減」欄は、「2019年度末」欄から「2018年度末」欄の金額を控除した金額となっています。

# 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差(△)異
学生生徒等納付金収入	2,856,166	2,904,022	△47,856
手数料収入	64,765	61,101	3,663
寄付金収入	2,700	6,063	△3,363
補助金収入	401,315	425,060	△23,745
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	85,850	81,605	4,244
受取利息・配当金収入	30	52	△22
雑収入	99,254	102,873	△3,619
借入金等収入	348,000	348,000	0
前受金収入	2,395,939	2,260,035	135,903
その他の収入	23,500	49,503	△26,003
資金収入調整勘定	△2,255,301	△2,265,155	9,854
前年度繰越支払資金	5,027,758	5,027,758	—
収入の部合計	9,049,976	9,000,919	49,056
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差(△)異
人件費支出	1,935,529	1,887,411	48,117
教育研究経費支出	789,584	813,617	△24,032
管理経費支出	582,543	524,364	58,178
借入金等利息支出	11,319	11,466	△147
借入金等返済支出	183,325	183,325	0
施設関係支出	2,178,734	2,076,116	102,617
設備関係支出	207,572	508,744	△301,172
資産運用支出	0	200,000	△200,000
その他の支出	98,876	109,326	△10,450
予備費	(18,898) △17,797	—	△17,797
資金支出調整勘定	△374,946	△820,998	446,052
翌年度繰越支払資金	3,455,235	3,507,546	△52,310
支出の部合計	9,049,976	9,000,919	49,056

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

# 事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支				
	科 目	予 算	決 算	差(△)異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,856,166	2,904,022	△47,856
	手数料	64,765	61,101	3,663
	寄付金	2,700	10,264	△7,564
	経常費等補助金	385,677	409,422	△23,745
	付随事業収入	85,850	81,605	4,244
	雑収入	99,254	104,364	△5,110
	教育活動収入計	3,494,412	3,570,780	△76,368
事業活動支出の部	人件費	1,935,529	1,888,911	46,617
	教育研究経費	1,113,372	1,036,149	77,223
	管理経費	616,137	566,211	△49,925
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	3,665,039	3,491,272	173,766
	教育活動収支差額	△170,627	79,507	△250,134
教育活動外収支				
	科 目	予 算	決 算	差(△)異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	30	52	△22
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	30	52	△22
事業活動支出の部	借入金等利息	11,319	11,466	△147
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	11,319	11,466	△147
教育活動外収支差額		△11,289	△11,413	124
経常収支差額		△181,916	68,093	△250,010
特別収支				
	科 目	予 算	決 算	差(△)異
事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	15,638	15,638	0
	特別収入計	15,638	15,638	0
事業活動支出の部	資産処分差額	0	120,912	△120,912
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	120,912	△120,912
特別収支差額		15,638	△105,274	120,912
予備費		(8,880) △7,778	／	△7,778
基本金組入前当年度収支差額		△158,499	△37,180	△121,318
基本金組入額合計		△1,486,849	△200,000	△1,286,849
当年度収支差額		△1,645,348	△237,180	△1,408,167
前年度繰越収支差額		△4,502,836	△4,502,836	0
基本金取崩額		0	430,555	△430,555
翌年度繰越収支差額		△6,148,185	△4,309,462	△1,838,723
(参考)				
事業活動収入計		3,510,080	3,586,470	△76,390
事業活動支出計		3,668,579	3,623,651	44,927

(参考)

事業活動収入計	3,510,080	3,586,470	△76,390
事業活動支出計	3,668,579	3,623,651	44,927

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。  
※「差異」欄は、「予算」欄から「決算」欄の金額を控除した金額となっています。

# 活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

教育活動による資金収支	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,904,022
手数料収入	61,101
特別寄付金収入	3,000
一般寄付金収入	3,063
経常費等補助金収入	409,422
付随事業収入	81,605
雑収入	102,873
教育活動資金収入計	3,565,087
人件費支出	1,887,411
教育研究経費支出	813,617
管理経費支出	524,364
教育活動資金支出計	3,225,393
差引	339,693
調整勘定等	359,085
教育活動資金収支差額	698,779

施設整備等活動による資金収支	
科 目	金 額
施設設備寄付金収入	0
施設設備補助金収入	15,638
施設設備売却収入	0
施設整備等活動資金収入計	15,638
施設関係支出	2,076,116
設備関係支出	508,744
第2号基本金引当特定資産繰入支出	200,000
施設整備等活動資金支出計	2,784,860
差引	△2,769,222
調整勘定等	372,158
施設設備等活動資金収支差額	△2,397,064
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	△1,698,284

その他の活動による資金収支	
科 目	金 額
借入金等収入	348,000
貸付金回収収入	2,125
預り金受入収入	37,407
立替金回収収入	40
仮払金回収収入	200
仮受金受入収入	212
保証金回収収入	500
小計	388,484
受取利息・配当金収入	52
その他の活動資金収入計	388,536
借入金等返済支出	183,325
預り金支払支出	15,652
仮受金支払支出	20
小計	198,997
借入金等利息支出	11,466
その他の活動資金支出計	210,463
差引	178,073
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	178,073
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△1,520,211
前年度繰越支払資金	5,027,758
翌年度繰越支払資金	3,507,546

# 寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2020年3月末日現在における寄付金募集状況は次のとおりです。

2019年度 寄付金募集状況 (単位:千円)			
対 象	種 類	件 数	金 額
4月～3月	一般寄付金収入	22件	3,063

# 補助金の状況

2019年度における補助金交付額は425,060千円となりました。内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

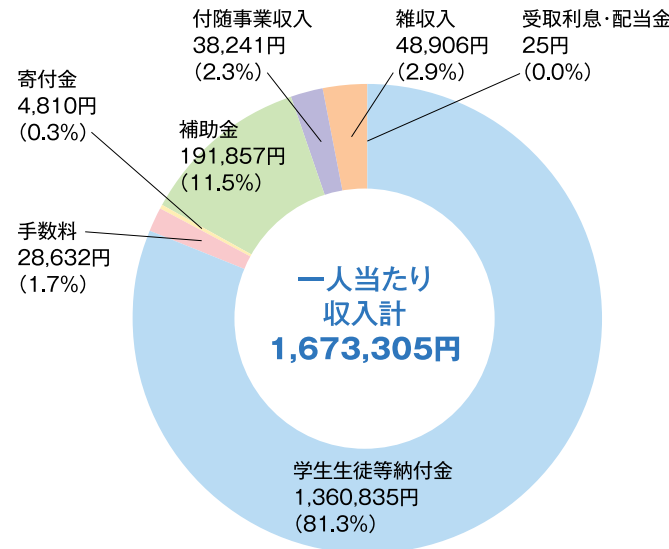
補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	197,888
私立学校等施設整備費補助金	短期大学部	15,638
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	138,917
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	71,340
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校他	1,276
合 計		425,060

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

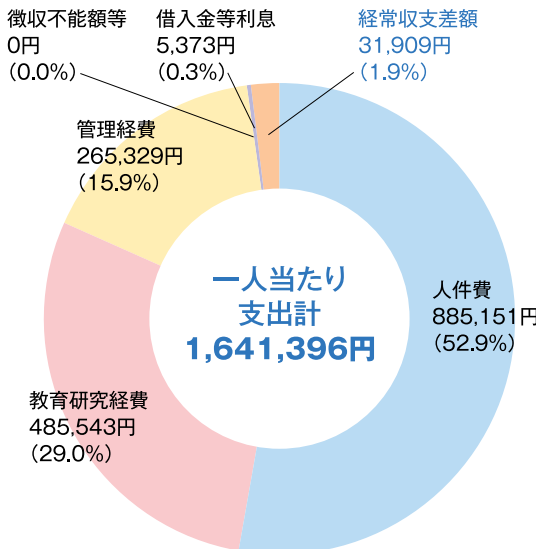
※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

# 事業活動収支計算書における「学生生徒一人当たりの支出とこれを賄う収入」

## 〈経常収入〉



## 〈経常支出〉



※「経常支出」および「経常収入」の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生生徒数2,134人(大学・短期大学部・高等学校・専門学校(2019年5月1日現在))で除して、学生生徒一人当たりの平均値を表しています。

# 寄付金募集のご案内

学校法人藍野大学では、教育環境のさらなる充実化を目的に、寄付金の募集を行っています。  
ご理解とご賛同、ならびに格別のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 寄付金 募集要項

特定公益増進法人指定寄付金

### 募集目的

- ・藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学部の教育研究活動および教育研究環境(施設設備)の充実
- ・藍野高等学校の教育活動および教育環境(施設設備)の充実

### 募集目標額

1億円

### 募集期間

2019年4月1日～2023年3月31日

### お問い合わせ先

学校法人藍野大学 法人事務局 総務センター経理グループ  
TEL:072-621-3764

※学校法人藍野大学が募集する寄付金の応募は任意です。また、入学前の募集は行っておりません。

### 募集方法

- 1. 申込金額**  
【個人】1口3,000円  
【法人】一口当たりの金額は定めておりません  
※個人、法人とも口数・金額にかかわらずお受けいたします。
- 2. 募集対象**  
在学(校)生、卒業生、保護者、教職員、企業等の法人・団体および当法人の教育にご賛同いただける方。
- 3. 申込・送金方法**  
■払込取扱票(郵便振替用紙)を利用したご寄付  
別紙の払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便局(ゆうちょ銀行)の「窓口」からお振り込みください。  
※別紙の払込取扱票を使用した場合、払込手数料は本学が負担いたします。  
■企業等の法人・団体からご寄付  
まずは、法人事務局総務センター経理グループにご連絡をお願いいたします。

※寄付金の免除措置に関しては、下記「税法上の優遇措置について」をご覧ください。

## 税法上の優遇措置について —寄付することで、税金が控除される制度があります—

平成23年度の税制改正により既存の所得控除制度に加え、寄付者の選択により新たに税額控除制度の適用を受けられるようになりました。  
この税額控除制度は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除制度と比較して、多くの方において減税効果が大きくなります。

### (1) 個人の場合

#### ① 所得税の寄付金控除

##### ◎ 税額控除制度

(当該年中の寄付金の合計額-2,000円)×40%=寄付金控除額

※寄付金控除額が所得税額から直接控除されます。

- ※当該年中は1月1日から12月31日の間となります。
- ※寄付金の合計額が総所得金額等40%を超える場合には、40%に相当する額が限度額となります。
- ※控除額は所得税額の25%が限度となります。  
(例) 10,000円の寄付をした場合(10,000-2,000)×40%=3,200円  
→3,200円が所得税から控除されます。

##### ◎ 所得控除制度

(当該年中の寄付金の合計額-2,000円)=寄付金控除額

(課税所得-寄付金控除額)×税率=所得税額

※寄付金控除額が課税所得から直接控除されます。

#### ② 個人住民税の寄付金税額控除

学校法人藍野大学へ寄付をしていただいた方で、※①大阪府内にお住まいの方、※②茨木市と富田林市にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除を受けることができます。

- ※①都道府県が指定した寄付金…4%
- ※②都道府県と市区町村の双方が指定した寄付金…10%

(当該年中の寄付金の合計額-2,000円)×住民税控除率=寄付金控除

- ※寄付金の額が総所得金額等30%を超える場合には、30%に相当する額が限度額となります。
- ※個人住民税の寄付金税額控除は、所得税の確定申告をすることにより適用を受けることができます。

- ※所得税の確定申告をせずに、個人住民税の寄付金税額控除のみを受けようとする場合には、寄付した翌年の1月1日にお住まいの市区町村へ申告することにより、適用を受けることができます。
- ※税制優遇の対象とならない条件もありますので、ご不明の場合は、市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。
- ※今後、条例改定等があった場合は、お住まいの市区町村の各担当窓口へお問い合わせ下さい。

### (2) 法人の場合

受配者指定寄付により、寄付金の全額が損金算入できます。

※詳しくは上記の問い合わせ先までご連絡ください。

#### ◎ 確定申告について

寄付者は、確定申告の際に「税額控除制度」または「所得控除制度」のいずれか一方を選んで優遇措置を受けることができます。「税額控除制度」を選ばれた方は、＜寄付金受領書＞と＜税額控除に係る証明書(写)＞、「所得控除制度」を選ばれた方は＜寄付金受領書＞と＜特定公益増進法人の証明書(写)＞によって確定申告の手続きを行っていただくことになります。

受領書と証明書に関しましては、交付希望の連絡をいただいた方に送付させていただいております。平成25年12月20日以降ご寄付をいただいた方で、受領書と証明書の交付希望のご連絡をして頂いた方には、＜受領書＞、＜税額控除に係る証明書(写)＞、＜特定公益増進法人の証明書(写)＞をお送りいたします。

### (3) その他

国・自治体等から要請があった場合には、寄付者名簿を提出させていただきますので、ご了承ください。寄付者名簿には、寄付者氏名、住所、寄付金額、寄付金受領日を記載いたします。

設立:1979年9月

## 大阪茨木キャンパス

### 藍野大学

藍野大学大学院  
看護学研究科  
医療保健学部  
看護学科／理学療法学科  
作業療法学科／臨床工学科  
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
TEL:072-627-1711／FAX:072-627-1753  
E-mail:info@kanri-u.aino.ac.jp

### 藍野大学短期大学部

第一看護学科／専攻科(地域看護学専攻)  
〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25  
TEL:072-626-2361 / FAX:072-621-1901  
E-mail:info@kanri-t.aino.ac.jp

### 藍野高等学校

衛生看護科  
衛生看護コース／メディカルサイエンスコース  
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-11  
TEL:072-627-1796／FAX:072-627-1797  
E-mail:info@kanri-hi.aino.ac.jp

### 藍野大学中央研究施設

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
TEL:072-627-1711／FAX:072-627-1753  
E-mail:info@kanri-u.aino.ac.jp

### 藍野大学キャリア開発・研究センター

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
Medical Learning Commons 1F  
TEL:072-627-7878／FAX:072-627-7997  
E-mail:cdr@kanri-u.aino.ac.jp

### 藍野大学中央図書館

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25  
TEL:072-625-6369／FAX:072-627-3355  
E-mail:library@kanri-u.aino.ac.jp

### 藍野大学短期大学部 メディカル・ヘルスイノベーション研究所

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 AINOPIA BLDG 2F  
TEL:072-626-2361 / FAX:072-621-1901  
E-mail:info@kanri-t.aino.ac.jp

## 大阪富田林キャンパス

### 藍野大学短期大学部

第二看護学科  
〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1  
TEL:072-366-1106／FAX:072-366-1107  
E-mail:info@kanri-t2.aino.ac.jp

## びわこ東近江キャンパス

### びわこリハビリテーション専門職大学

リハビリテーション学部  
理学療法学科／作業療法学科  
〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967  
TEL:0749-46-2311／FAX:0749-46-2313  
E-mail:shiga@aino.ac.jp

### 滋賀医療技術専門学校

理学療法学科／作業療法学科  
〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967  
TEL:0749-46-2311／FAX:0749-46-2313  
E-mail:info@kanri-si.aino.ac.jp

## 大阪阿倍野キャンパス

### 明浄学院高等学校(支援契約締結校)

普通科  
総合コース／特進コース  
〒545-0004 大阪府大阪市阿倍野区文の里3-15-7  
TEL:06-6623-0016／FAX:06-6627-1165  
E-mail:info@meijo.ed.jp

## 編集後記

ainote(アイノテ)2020年11月号をお読みいただきありがとうございます。

本誌のメインテーマは「コロナ禍における安心・安全な学校づくり」。新型コロナウイルス感染症により一変した教育現場における「学校の新しい生活様式」にスポットを当て、茨木市内大学と茨木市による新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた共同声明の活用など、安心・安全な学校づくりに向けた取り組みを紹介しました。

また、コロナ禍における医療現場の厳しさがメディアで取り上げられている中、本学の学生・生徒もまた、実習の制限や分散登校、オンライン授業等、慣れない環境の中で日々勉強に励んでいます。そこで、夢に向かって頑張る学生・生徒に向け、エールを送る企画としました。

末筆ではございますが、今回取材・撮影にご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

